

9月1日は「防災の日」

大地震に備える

もし今、大地震が起こったら。

その時とるべき行動と、今やっておくべき備えについて考えませんか。

■ 閩総務課（吉備庁舎）

日本は地震大国であり、いつどこで大きな地震が発生してもおかしくありません。地震は突然起こる上に、予測が困難です。地震はあなたや大切な人の命を奪う脅威であり、また今までの「当たり前前の生活」を一瞬で壊してしまいます。

地震発生のリスク

南海トラフ地震（「東海・東南海・南海3連動地震」「南海トラフ巨大地震」の総称）は、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると想定されています。

南海トラフ地震は、過去約150年～90年周期で繰り返し発生しており、最後に発生した昭和南

海地震（1946年）から70年以上経過しているため、今後いつ発生してもおかしくないとされています。

命を奪う危険から逃れる

地震による死者の多くは家屋の倒壊によるものです。また、地震による負傷者の3～5割は家具類の転倒・落下・移動によるものです。

地震発生時、屋内や建造物の近くにいる場合、家屋や家具、ブロック塀などがあなたの命を奪う凶器になる恐れがあります。

● 発災直後は命を守る行動をとる

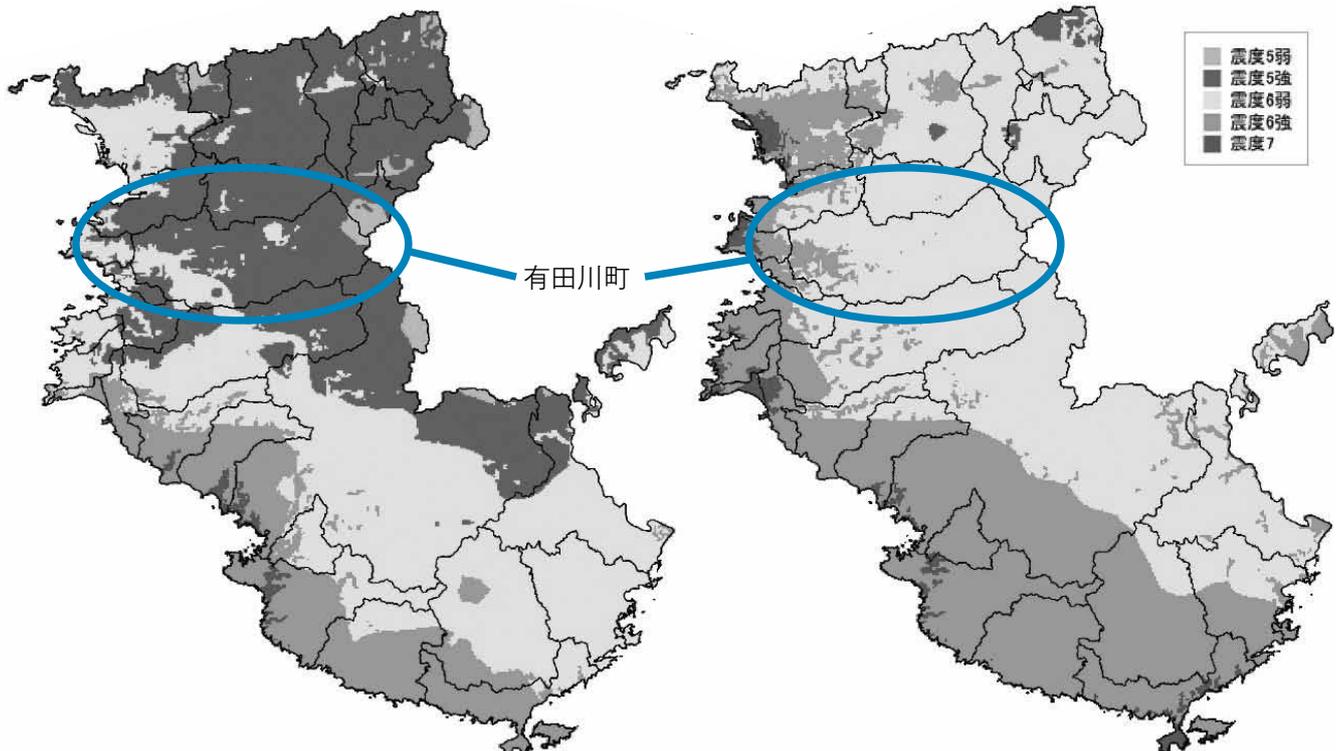
突然発生した地震から命を守るにはあなた自身です。

大規模な地震が発生した際に想定されている和歌山県の震度

有田川町では東海・東南海・南海3連動地震発生時には震度5強～6弱、南海トラフ巨大地震発生時には震度6弱～6強になると想定されている。

東海・東南海・南海3連動地震

南海トラフ巨大地震



いずれも平成26年（2014年）和歌山県地震被害想定調査から引用